

あおむしを育てています



にじくみ

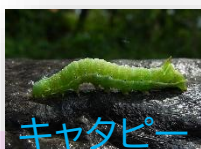
R8年5月26日(火)

4月のある日、園庭で黄緑色のきれいなあおむしを見つけました。「ちょうちょうになるかもしれない。」「お部屋で育てたい！」という声が子どもたちからあがり飼育することにしました。



お部屋にある絵本や図鑑で何のあおむしかを調べてみても、何のあおむしか分からなかったなので、子どもたちとタブレットで調べてみることにしました。すると蛾の幼虫かもしれないことが分かりました。蛾が生まれるかもしれないことを子どもたちに話しても、「育てたい！」というみんなの思いは変わりませんでした。

名前はキャタピーにしよう！



キャタピーが何を食べるのか調べると、キャベツ、柑橘系の葉ということが分かりました。給食室にキャベツをもらいに行ったり、お家にゆずの木がある不動先生に、ゆずの葉をもらうようお願いしました。不動先生が持ってきてくれた葉っぱに違う幼虫や卵がくっついていたので、違うあおむしの成長も一緒にみることにしました。もちろん子どもたちは大賛成！この幼虫を調べてみるとナミアゲハの幼虫だと分かりました。毎朝飼育ケースを覗きながら「昨日より大きくなったね。」「こんなにたくさん葉っぱ食べたんだ！」「大きいうち。」などと小さな変化に気づいて教えてくれました。



ある日飼育ケースの中にキャタピーがない！と気付いた子がいました。よく探してみると、葉っぱの下にキャタピーがいました。サークルタイムで一人ずつ観察しました。



ザラザラしてるね

ここはツルツル

サークルタイムのなかで「**さなぎ**になったんじゃない！？」と教えてくれる子がいました。「たくさん葉っぱを食べたから眠たくなっちゃったんじゃない？」「**成虫**になって飛ぶ準備をしてるんだよ。」と知っていることや考えたことをたくさん話しました。

別の日、ちょうちょうの幼虫が1匹葉っぱから落ち、水で濡れていて動かないことがありました。すぐにサークルタイムでこのことをみんなに伝えました。どうして動けなくなったか原因は分からなかったのですが、「葉っぱを入れている花瓶が倒れて水がこぼれてしまったのかも…」「飼育ケースを揺らしてあおむしがおちてしまったんじゃない？」など、自分たちで原因を考えて教えてくれました。あおむしも命がある生き物であることを話し、あおむしは触らず観察する、飼育ケースを揺らさないなどの約束を子どもたちと決めました。



あおむしを飼育するなかで、「何の幼虫かな？」と絵本や図鑑で調べる**探求心・自立心**、発見や不思議、考えたことなどを友だちに伝え、共感したり違いをうけとめたりする**言葉による伝え合い**、命がある生き物へ愛情をもって大切にする**自然・命を大切にしようとする姿**など、たくさんの育ちが見られました。これから羽化し、ちょうちょうになった時に、子どもたちがどう感じるのか楽しみです。